

2003 年度 愛知県スキー連盟 基礎スキー公認検定員 C級検定員検定理論問題

氏名		クラブ名		受験番号	
----	--	------	--	------	--

1. 基礎スキー公認検定員規定第2条に定められている(任務)について()の中に適切な語句を記しなさい。

検定員は、基礎スキー()の基幹となる人材であることを認識し、()なる判定によって、()を円滑に運営し、その()を保持するよう心掛けねばならない。

2. 基礎スキー公認検定員規定第3条に定められている(検定の範囲)にあるC級検定員が検定できる範囲について()の中に適切な語句を記しなさい。

(1) 基礎スキー技能テストの内、()

(2) 基礎スキー技能テストの内、()

3. 基礎スキー公認検定員規定第13条に定められている(資格の喪失)について()の中に適切な語句を記しなさい。

(1) 連盟の規約に違反し、()のような行為があったとき

(2) 所定の指導員研修会に()したとき

(3) 資格の停止期間が、()したとき

(4) その他指導員及び準指導員の()したとき

4. 基礎スキー技能テスト規定第1条に定められている(技能テストの種類)を4つ記しなさい。

(1)

(2)

(3)

(4)

5. 基礎スキー技能テスト規定第17条に定められている級別テストにおける(受験資格)について()の中に適切な語句を記しなさい。

(1) 1級および2級の受験者は、()以上とする。ただし小学生であっても、ジュニアテスト()以上を取得している者であれば、受験することができる。

(2) 3級、4級及び5級の受験者は、()以上とする。

(3) 受験者は、()する級を受験することができる。

6. 基礎スキー技能テストにおける級別テスト2級の実施要領について()の中に適切な語句を記しなさい。

テスト実施要領		
技術種目	斜面設定の目安	テスト形式
応用技術	中・上級コース	
()要素 のターン ○ 大回り ○ () ○ ()	中～急の適合斜面 ()	()テスト
スキッピング要素 +カービング要素 ○ () ○ 大回り	中～急の適合斜面	()テスト